

平成26年 死亡災害発生事例

確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
1	1月	6時	建設業 (建築)	10～29人	所属事業場の命令により、私用のワゴン車で3人の作業員を乗せて越谷市内から所沢市内の建設現場へ向かった。途中、さいたま市内の国道を走行中にワゴン車がスリップし、横転、畑に転落した。この事故で運転者が死亡、他の同乗者3人も負傷した。	交通事故	乗物
2	1月	16時	製造業 (窯業)	50～99人	製品(コンクリート製のマンホール)の納入先の現場において、被災者は製品の不良個所を補修していたところ、その上部付近で別の作業を行っていたドラグ・ショベルが転落し、押し倒された製品と法面との間に頭部、胸部を挟まれた。	崩壊、倒壊	整地・運搬・ 積込み用機械
3	1月	5時	陸上貨物取扱業	1～9人	事業場の新年会の後、翌日の勤務に備えて、事業場内に駐車した自家用車の車内で仮眠を取っていた被災者が、事業場敷地内の簡易トイレのそばで倒れているところを発見され、医療機関に搬送されたが、虚血性心疾患により、同日死亡した。 死亡前1ヶ月間の時間外労働は、100時間を超えるものであり、死亡前2ヶ月間の平均の一月当たりの時間外労働は、90時間を超えるものであった。	その他	起因物なし
4	2月	10時	建設業 (その他)	10～29人	鉄骨製の折板屋根上で太陽光パネルの設置工事後片づけを行っていたところ、屋根に設けられた天窗(金網入りガラス製)を踏み抜き、約6メートル下に墜落、3週間後に頭部外傷により死亡した。ヘルメットは着用していた。	墜落・転落	仮設物、建築物、 構築物等
5	2月	14時	建設業 (建築)	10～29人	木造平屋建て新築工事現場において、同僚6名と梁の上に架け渡した足場板の上で作業を行っていたところ、バランスをくずして約3メートル下のコンクリートの土間に墜落した。	墜落・転落	屋根、はり等

平成26年 死亡災害発生事例

確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
6	2月	8時	清掃・と畜 (その他の清掃)	10～29人	同僚とプールサイドに落ちている鳥の糞をデッキブラシで落とす作業を行っていた。楕円状のプールサイドを左右に分かれて清掃を開始して数分後、被災者が水面に浮いているのを発見した。当日は、雪でプールサイドが濡れていたが、おぼれた原因は不明。	おぼれ	仮設物、建築物、構築物等
7	2月	7時	製造業 (金属)	1～9人	同僚とアルミニウムと不純物を焼成分別するロータリーキルンの点検後、被災者はベアリングにグリスアップする作業を開始した。同僚は離れた場所で清掃を開始したが、異音に気づき見に行ったところ、ロータリーキルンに腕を挟まれている被災者を発見した。	はさまれ・ 巻き込まれ	炉、窯
8	2月	9時	商業 (その他)	30～49人	軽自動車で顧客先に向かっていた。途中、高速道路出口の車列の最後部に渋滞で並んでいたところ、後ろから3トントラックに追突され前方停車中の10トントラックとの間に挟まれて大破した。	交通事故	トラック
9	2月	15時	建設業 (土木)	30～49人	橋脚に構築した足場上において、橋桁と橋桁の間にある既設の非排水材の撤去作業を行っていた。止水ゴムと支持金具を取り外したところ、非排水材が落下し、下敷きになったもの。	崩壊、倒壊	仮設物、建築物、構築物等
10	2月	15時	建設業 (建築)	1～9人	一般住宅改修工事現場において、高さ1.3メートルの塀の上に乗って、外壁補修作業(補修箇所の高さは約3メートル)に従事していたところ、何らかの原因により塀の上から墜落し、3月に頸椎損傷により死亡した。	墜落・転落	仮設物、建築物、構築物等

平成26年 死亡災害発生事例

確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
11	3月	14時	陸上貨物 運送事業	30～49人	住宅用建材(外構用の化粧コンクリートブロック)の配送を、2.8t積ユニット車で進んでいた。現場にて荷下ろしのため玉掛けワイヤーを積荷に掛けていたところ、足元が滑り(大雨が降っていた)、荷台(高さ約90cm)から転落した。救急車で病院へ搬送され、加療中のところ、容体が急変し死亡した。	墜落・転落	移動式クレーン
12	3月	9時	建設業 (建築)	1～9人	戸建住宅の屋根に太陽光パネルを設置する準備のため、2F屋根まで架けた荷揚げ機のレール(梯子形状)を片手に荷物を持って上っていたところ、レールが横にずれて地面に墜落した。ヘルメットは着用していなかった。	墜落・転落	はしご等
13	3月	12時	その他 (警備)	50～99人	道路の補修工事現場において、砂利を積んだ4トラックが後退した際に、ひかれたもの。	はさまれ・ 巻き込まれ	トラック
14	3月	8時	製造業 (紙加工品)	1～9人	工場の引越し作業中に同工場の2階にあるリフトに荷物を積み込んでいたところ、リフトが吊り具から外れて落下した。そのはずみで被災者が体勢を崩し、昇降路へ転落した。	墜落・転落	エレベータ、リフト
15	3月	13時	建設業 (土木)	10～29人	橋桁上に設置されていた吊り足場を解体するため、トラッククレーンに吊り下げられたゴンドラに作業員2人が乗り、足場材をゴンドラ内に積み込んでいた。その際、ゴンドラが揺れ、トラッククレーンが横転し、トラッククレーンのブームが損傷、ワイヤーロープが切れてゴンドラごと川へ落下した。	墜落・転落	移動式クレーン

平成26年 死亡災害発生事例

確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
16	3月	13時	建設業 (建築)	1~9人	鉄骨造2階建て建物の新築工事を行っていた。鉄骨階段の塗装作業を3名の作業員が従事していたうち1名が、脚立と階段の支柱との間に足場板を架け渡した上で塗装作業を行っていたところ、鉄骨階段上に転落した。	墜落・転落	足場
17	4月	16時	建設業 (電気工事)	1~9人	3本の電線と1本のアース線に倒れかかった伐倒木を地上へ下ろすため、被災者が同伐倒木に登って木の先端部分をのこぎりで切断した。切断した部分が3本の電線に引っかかっていた部分であったため、伐倒木を支えていたアース線が重みに耐えきれずに切断し、伐倒木と共に被災者が転落した。	墜落・転落	立木等
18	4月	14時	建設業 (建築)	1~9人	建築工事現場において、敷鉄板相互を溶接により固定する作業を行っていた被災者が、右後方から前進してきた10トン貨物自動車の右前輪に巻き込まれ、医療機関に搬送されたが、死亡した。	はさまれ・巻き込まれ	トラック
19	5月	10時	陸上貨物 運送事業	50~99人	被災者は、朝通勤途中、鉄道の線路内に立ち入り、列車にひかれ、死亡した。 死亡前3ヶ月間の一月当たりの時間外労働は、おおむね100時間を超えるものであった。	その他	起因物なし
20	5月	10時	建設業 (建築)	1~9人	自動火災報知器設備修繕工事において、被災者が、フォークリフトのフォークに積み上げられた4個容器の最上段の容器内を足場とし、高さ約7mの天井に設置されている火災報知器の取付け・取り外し作業中、バランスを崩し最上段の容器とともに墜落した。	墜落・転落	フォークリフト

平成26年 死亡災害発生事例

確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
21	5月	10時	陸上貨物 運送事業	30～49人	千葉県松戸市の事業場より複層ガラスを積み、納品先の埼玉県戸田市に向かう途中、首都高速道路大宮線の壁面に接触し、積み荷のバランスが崩れトラックが横転して負傷、救急搬送先の病院で死亡した。	交通事故	トラック
22	6月	22時	ビルメンテナ ンス業	300～499人	防災センターにて警備業務中に、建物外部に座り込んでいる者をモニターで覚知し、確認のため地下から地上の当該箇所に通じる階段を昇ったあと、その地点から転がり落ち死亡したものの。	墜落・転落	階段、さん橋
23	6月	10時	建設業 (建築)	1～9人	エレベーター改修工事において、有機溶剤を含有するはく離剤を使用して、エレベーターかご内に貼り付けられた合成樹脂シートをのはく離作業を行っていた事業主と被災者がエレベーターかご内で死亡しているところを発見された。	有害物等の接触	有害物
24	6月	15時	建設業 (建築)	1～9人	工場建屋解体工事現場において、被災者は屋根に登り、屋根材であるスレートの取り外しを手ばらしで行っていたところ、スレートを踏み抜いてしまい、約4.6メートル下のコンクリート地面に墜落した。	墜落・転落	屋根、はり等
25	7月	16時	建設業 (建築)	1～9人	ロングスパンエレベーター設置における、昇降レール設置用の足場組立て作業中に、被災者は地上からの高さ約13.5メートルの高さの枠組足場(7段目)に位置し、頭上からタワークレーンで吊られた8,9段目の足場を組立て作業中に、バランスを崩し、7段目足場から墜落した。	墜落・転落	足場

平成26年 死亡災害発生事例

確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
26	8月	18時	製造業 (機械器具製造業)	30～49人	コンクリート成型機を製造する事業場で、出荷調整を行っていたところ、型枠が設計どおりに動かないことが判明した。そのため、コンクリート成型機に体を入れ、鉄製プレート成型機を型枠のガイドとして溶接していたところ、使用していた電撃防止装置のない交流アーク溶接機の溶接棒が被災者の喉に当たり、感電したものの。 被災者は災害発生から2日後に死亡した。	感電	アーク溶接装置
27	8月	3時	陸上貨物 運送事業	1～9人	京都市内の倉庫から、埼玉県加須市の配送先へ向かって圏央道を走行中、青梅市の菅生トンネル内で、エンジントラブルで停車中の大型トラックに追突したものの。	交通事故	トラック
28	8月	10時	製造業 (鋳物業)	100～299人	休憩時、喫煙しようとして喫煙場所まで歩いていったところ、背後から構内関係請負人の運転する前進中のフォークリフト(最大荷重6トン)に激突され轢かれた。	激突され	フォークリフト
29	8月	23時	陸上貨物 運送事業	10～29人	神奈川県内にて荷積みを行い、大阪府堺市到着に向けて大型トラックを運転していた。途中、滋賀県内の高速道路にて、右側のガードレールを突き破り、トラックごと約14メートル転落し翌日死亡した。	交通事故	トラック
30	8月	12時	建設業 (建築設備工事)	1～9人	ビル5階フロアの空調の吹出口の移設工事において、被災者が天井裏に入ってダクトの接続部を切り離す作業を行う際、感電したものの。	感電	送配電線等

平成26年 死亡災害発生事例

確定

番号	発生月	発生時間帯	業種	事業場規模	災害発生のあらまし	事故の型	起因物
31	9月	11時	商業 (その他の小売業)	1～9人	3階建ての宿泊施設において、テレビの配線工事のため3階のベランダで作業を開始した後、3階屋根上又は移動はしご上から転落した。	墜落・転落	屋根あるいは梯子等
32	11月	14時	製造業 (化学工業)	50～99人	有機溶剤を使用して行う化学物質を洗浄する作業の最終工程において、遠心分離機を使って再結晶化した化学物質を有機溶剤と分離した後に、被災者が当該遠心分離器内部に頭部を入れて意識を失っているところを発見された。	有害物等との接触	異常環境等
33	11月	19時	製造業 (めっき業)	30～49人	めっき業を営む工場において、被災者は鉄製のかごをクレーンを使用し、フラックス槽と呼ばれる熱せられた塩化アンモニウムの水溶液に入れる作業をしていた際、槽に転落、全身熱傷を負って、3日後に死亡した。	高温・低温の物との接触	その他の装置・設備
34	12月	19時	建設業 (その他土木)	1～9人	当該事業場の第一資材置場に所属の被災者は、同所で打ち合わせ後、第二資材置場へ向かうべくスクーターに乗って移動中、交差点において乗用車と激突した。	交通事故(道路)	乗用車、バス、バイク